

## 提出意見の内容

(「食の駅」基本構想(案)に対するパブリック・コメント)

### 意見募集期間

平成21年7月1日(水)～7月31日(金)

### 意見提出人数

6名

### 提出方法

郵送 2名

メール 3名

FAX 1名

### 提出意見(提出順)

#### 【1】

- ・「食にこだわったまちづくり」というテーマは、基本的に賛成します。不況下において最も安定消費されるのは「食」の部分と考えられます。しかし、展開方法には改善の余地がないでしょうか。私が道外にいたときの美唄の印象も含めて、僭越(せんえつ)ながら意見を書かせて頂きます。
- ・美唄は何が特産なのかが不明。アスパラガスは一昔前まで「美唄産」と言えば知名度、ブランド力ともにありましたが、現在は低下していると感じます。ハスカップは本州では知名度はほとんどないように思います(美唄=びばいと読めないくらい)。玉葱は北見、メロンは夕張というように、他の作物も道内市町村とかぶって、“ならでは”というものが戦略的に創造されていないように感じます。加工品でも「とりめし」は市内で盛り上がっているだけで、帯広の豚丼とは比べものになりません。“美唄の” “なら美唄”といった宣伝、アピールを戦略的、計画的に行うべきと考えます。
- ・どれだけ売りたいのか。「食の駅」ということで国道12号線利用者をターゲットにしていると思います。そこにどのように集客するかが課題です。何か観光施設があれば別ですが、道の駅は今や過剰と思えるほどで、道の駅に産地直売を併設しただけでは、各地の道の駅と差別化できません。しかも道内の農産物は悪く言えば、何処も似たり寄ったりで、物珍しさがありません。ただ、北海道で出来たものを北海道で売るから、物珍しさがないのではないのでしょうか。東京や神奈川のデパートで行われる北海道物産展での集客は桁違いです。人口、市場規模が違うのもありますが、北海道のブランド力が一番発揮される土地だからではないからでしょうか。また、私が住んでいた横浜の郊外でも、農家の方が野菜の直売所を週末に、道路脇のちょっとしたスペースでやってましたが、価格が安い訳ではないのに、農家直売=新鮮、美味しいということで、そこに入るために渋滞ができるほどでした。販売拡大を望むのであれば、市内にアンテナショップを作るより、本州に直営店を作ったり、催事場で販売するなど、直接首都圏市場に打って出た方が効果は大きいと思います。美唄市内の生産量が足りないのであれば、近隣市町村と連携したり、冬季の農産物がない部分は、九州などの市町村と提携するなど首都圏進出も不可能ではないと思います。
- ・市がどこまでやるのか。現在の市内の農業に関して、市とJAびばいとどちらが主導

するのが見えないうように感じます。JAは一企業ですから、美唄全体を考えてというのは、無理があると思います。やはり、市が主導権を持って生産管理、販売計画、宣伝活動を行うべきと考えます。また、人材育成も必要な部分です。市政各部署で、販売業種の研修を取り入れるなどしてはどうでしょうか。自分のまちで生産されたものが、どうやってお客様の手に渡っているかを直に体験することで、より消費者ニーズが分かるのではないのでしょうか。「夕張＝メロン」のような、美唄＝の答えを市主導で作り上げていただき、市全体が活性化することを切望いたします。

## 【2】

- ・「食の駅」は既設施設の活用から出発するのが妥当と考えます。素朴な空間での再利用、節約志向に利用者は好感します。
- ・施設が民間による主体的維持管理を基本とすることは支持します。この運営にあたっては、協議会で細部にわたって十分な準備をして遺漏のない運用をお願いします。
- ・利用者は数々の「道の駅」を訪れています。この人たちの情報は参考になります。一般市民は、日常的にはスーパー、コンビニ、商店等から食品を購入します。今回、開発する食品は、これら販売店にも揃えるようお願いしたい。また、団体客への対応は誠心誠意でありたい。評判の商品が揃っていれば買ってくれます。
- ・「食の駅」に市民バス停留所を設置してほしい。市民の利用度が上がると考えます。

## 【3】

- ・美唄市は財政再建団体に転落する可能性が極めて大という環境の中で、アンテナショップの設置という申し訳程度のマーケットリサーチだけで、5億円もの費用をかけて「道の駅」を作るメリットはどこにあるのかさっぱり分かりません（1億円でも100万円でも同じ）。設置当初は物珍しさで集客はそれなりに期待できるでしょうが、他自治体にも知名度の高い「道の駅」があるため、いずれは過当競争に陥り「地方空港」のように共倒れになることが十分に予想されます。その場合、誰が責任を取るのでしょうか？この点についても設置のメリットばかりが宣伝されているだけで、リスクについては一文字すらありません。市長以下、このような無責任体質が、ただでさえ悪い現在の財政事情の更なる悪化に拍車をかけたのではないのでしょうか？失敗の本質というものを今一度勉強された方が良いと思います。
- ・小学校等では、炎天下でもスズメバチが入るからと教室の窓を開けないといひます。網戸があれば、子どもたちは快適に勉強に励むことができるでしょう。ただでさえ財政が厳しい美唄ですが、そんな苦境の中でも子どもたちの生活環境の改善に配慮したのであれば、親を敬う子の心のごとく、美唄市に対しても将来、あんなに苦しい中でも自分たちをしっかりと養ってくれたんだ、美唄で育てて良かった、美唄のために頑張ろうとなるのではないのでしょうか（もちろん、全員でないにしろ）。箱物つくったから潤うというのは、20年前のバブル経済の頃の発想そのままでしょう。そんな社会を見て育った当時の子どもたちが今、自分たちの親にあたる世代をどのように見ているのでしょうか、今一度考え直してから「食の駅」とやらを考えた方が良いと思います。

- ・ファシリティーマネージメントって何ですか？意味をよく理解しないで横文字を使わないでください。
- ・なぜ名前や住所の記名が必要なのですか？生活保護受給者などの生活弱者に対し、余計なことを意見したらどうなるのか分かっているのかと、圧力をかけているのでしょうか？前回の財政再建プランとやらに対する意見の提出にあたって、名前や住所の記載が求められ、そのことについて意見しましたが、確か何も回答がありませんでした。こういうのは無言の圧力になるのを知っていて記載させているのですか？美唄市役所の役人体質なののでしょうか。
- ・「食の駅」構想で盛り上がっているのは、市長の取り巻きと利益享受団体などごく一部に過ぎません。大方は冷めています、たぶん冷めている人間の多くは「意見を言っても無駄」と諦めているように思われます。

#### 【４】

- ・「食の駅」についての検討は先送りすべきです。美唄市は厳しい財政状況にあり、市立美唄病院の経営立て直しを優先的に考え、財政状況が安定する見通しのついた時に「食の駅」を再考してはどうでしょうか。「食の駅」への投資額を、例えば「カテーテルの検査治療」などのために他市町村の病院へ出向かなければならない状況の人を少なくするために、医療の機器を充実させるべきだと考えます。
- ・美唄市の食のPRについては、現状に工夫を加えて前に進めることでよく、それ以上のことは当面個々に考えて販路拡大を図れば良いと思います。
- ・平成17年度からの「食のフリーマーケット」開催の結果が不明です。

#### 【５】

- ・先日、アンテナショップに行ってきました。一通りの美唄産品が置かれていて、こんなものが美唄で作られていたのかなど、あらためて関心させられました。
- ・また、北海道中の道の駅を廻ってみた経験から、農産物、特産品の展示販売、食堂の併設など、本当にこの町を売り込もうとしている熱意が伝わってくる駅、また、トイレだけの道の駅など、止まってがっかりさせられるところなど様々でした。
- ・12号線沿いの空き施設の利用はいいことですね。やっぱり道の駅は幹線沿いでないと集客は見込めないし、どれだけ立ち寄ってくれた人を食の駅に引き止めておくことができるかによろと思います。最終的には、どれだけ食の駅に思い入れができるかなど熱意によろと思います。
- ・三笠のように、絶対にコンビニは併設すべきです。コンビニにふらっと立ち寄った人でも、そのまま流れて立ち寄ってくれる確率は大です。
- ・アルテピアッツァ美唄のミニ展示コーナーなどをつくり、そこから興味をひいて落合のアルテに向かってもらえたらしめたものです。美唄の周りには、すでに沢山の道の駅がありますので、美唄らしい特色を出さないとなかなか難しいことだと思いますが、是非成功させてほしいと思います。ガンバッテ下さい！！

## 【 6 】

- ・当団体では、運動方針の一つに「自治・まちづくり」の取り組みを掲げ、まちづくりについて調査・研究を行っています。今回、「食の駅」基本構想（案）について私たちが検討してきたことを以下に述べます。
- ・地域の発展は、美唄市にとって大きな課題ですし、市民も大きな関心を払っています。農業は本市の基幹産業ですので「食にこだわったまちづくり」は必要ですし、いろいろ研究しなければならない分野です。従って「食の駅」基本構想（案）の趣旨・目的については基本的に賛成です。「食にこだわったまちづくり」の基本コンセプト等についても賛成です。しかし、基本施設（「道の駅」）の新たな整備には反対です。いろいろ検討してみても、費用対効果の観点から「食の駅」の採算の見通しが立たないからです。「食の駅」の建設費に2億円程度、ランニングコストとして毎年2千万円程度の財政支出が予想されます。財政危機の折、採算の見通しが難しい新しい事業を興すのではなく、いくつかある既存の施設を使って（地域振興施設）、「食の駅」の趣旨・目的を追求すべきです。なお将来、商品開発や利用者の増大など、費用対効果の観点から「食の駅」（基本施設と地域振興施設）の採算見通しが十分に立つようになったときは、あらためて検討すべきです。その際、厳しい財政運営が迫られている本市としては、市民説明会と市民アンケート（賛成・反対）を必ず実施し、市民の理解と納得のもとに決定すべきです。

### 「食の駅」をめぐる諸問題

- ・国土交通省の「道の駅」に対する施設の義務づけについて、そもそも基本施設の「道の駅」とは国土交通省の定義によれば、「道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供する施設」とされています。そして、国土交通省の要綱によって詳細な設置基準が定められ、無料駐車場やトイレの設置、さらには道路や地域の情報提供などが義務付けられ、設置主体についても市町村もしくは外郭団体などの公的な団体に限られています。これらの要綱の基準を満たして初めて「道の駅」という名称を使うことが許され、シンボルマークなどの掲示などもできるようになります。
- ・乱立する「道の駅」と財政支出の増大について、美唄周辺の「道の駅」は、国道275号線沿いに「サンフラワー北竜」「田園の里うりゅう」「つるぬま」があり、国道12号線沿いに「ライスランドふかがわ」「たきかわ」「ハウスヤルビ奈井江」「三笠」などがあります。いずれも毎年のランニングコストの財政支出に頭を悩ませていると聞いています。「食の駅」の建設費に2億円程度、ランニングコストとして毎年2千万円程度の財政支出が予想されます。全国的にも「道の駅」は乱立状態にあって淘汰の段階に入っており、財政危機が続く美唄市にとって「食の駅」を設ける情勢にはありません。
- ・「道の駅」の利用と問題点について、「道の駅」を利用している人たちのアンケートによると、「道の駅」の使用目的の第1はトイレ、第2は休憩・軽食、第3は特産品の買い物、第4は観光情報だそうです。トイレはきれいではなかったら使ってくれないし、心ない人たちによる汚損が増えています。また、ごみ処理などでも困っているようです。冬になると駐車場の除雪、暖房費用の増加など管理運営費がかさみます。休憩・軽食については、現在セブンイレブンなどのファーストフード店や商店などがそ

の役割を果たしており、これらに対して民業圧迫となる可能性があります。特産品の買い物については、それほど需要は期待できないし、これも同じ商品を販売している商店への民業圧迫になるのではないのでしょうか。

「食の駅」基本構想（案）に対する意見

- ・「食の駅」の趣旨・目的には賛成です。「農業を中心として、商工業や観光などと連携を強め、農産物や特産品など様々な地域資源を有効に利用し、農業の持続的発展や新たな商品の開発、観光の振興などを通じて、地域経済の活性化を図る」ということは重要で、「食の駅」の趣旨・目的に賛成します。
- ・基本コンセプト等には賛成ですが、新たな「食の駅」設置には反対です。市が掲示した「食にこだわったまちづくり」の基本コンセプト及び「面的イメージ」「全市的な展開」「食にこだわったまちづくりの推進に向けた事業者やが学術試験研究機関、市民、市の役割」についても賛成します。しかし、新たに整備する「食の駅」については反対です。美唄市の財政状況や費用対効果（採算性）の観点から、「食の駅」の設置の見通しが持てないからです。
- ・基本施設「道の駅」なしの地域振興施設について、「食の駅」基本構想は、基本施設と地域振興施設を一箇所に設けることになっていますが、基本施設（「道の駅」）なしに、いくつかある既存の諸施設を使って、「食にこだわったまちづくり」をすべきです。基本施設（「道の駅」）がなくても「食の駅」の趣旨・目的に見合うような効果を生み出すことができるはずです。
- ・市民の理解と納得の上で実施してほしいと思います。行政は、情報公開と市民参加を掲げているのに、市民の理解と納得を求める取り組みは不十分で、行政が市民から離れて先頭に立っている感があります。行政は市民の理解と納得を得ることをもっと重視し、必要な取り組みを為すべきです。将来、商品開発や利用者の増大など、費用対効果の観点から「食の駅」（基本施設と地域振興施設）の採算見通しが十分に立つようになった時に、あらためて設置を検討すべきです。その際、厳しい財政運営が迫られている美唄市としては、市民説明会と市民アンケート（賛成・反対）を必ず実施し、市民の理解と納得のもとに決定すべきです。

## 意見の内容

(「食の駅」基本構想(案)に対する団体説明会・意見交換会)

意見募集期間

平成21年7月16日(木)

意見者数

2名

意見

### 【1】

- ・食の駅は別としても、食にこだわったまちづくりを進めることは大賛成です。
- ・食の駅にすぐに結びつくのではなく、食にこだわったまちづくりを進めていって、食の駅が必要になった段階で考えていくことがよいと思います

### 【2】

- ・整備費に約6億円の予算がかかると聞いている。そういう施設はいらないとの意見が多かった。
- ・食の駅は必要ないと思う。財政赤字が大変だ。直売を各農家が行っている。
- ・食の駅は、市長の公約になっている。これまで市長の公約として行った事業は、必ず実施しないと駄目なものか。長い間議論してきたが無駄な時間ではなかったか。食の駅について農業者が必要とするなら構想も必要だが、農業者からいらないとの声が多いように思う。